



Mutsu General Hospital

むつ総合病院



研修医日記

作成者：立石 桜（2年次）

いよいよ最後の日記となりました。循環器内科研修中の立石桜です（昨年 11 月に入籍しました、たくさんのお祝いの言葉ありがとうございました！）。

残すところあと 1 ヶ月少々の研修ですが、今思うと本当にあっという間の 2 年間でした。最初はわけもわからず毎日をこなすのに必死でしたが、多くの温かい人たちのおかげで多少なりとも成長できたのではないかと思います。今お世話になっている 7 階病棟は文字通りの「チーム医療」を実感できる場所で、看護師さん、クラークさんはじめみなさんがとても積極的で明るく、研修医をも大切にしてくださいます。この環境に甘えずぎて、春からが心配なのは大きな声では言わずにおきます。しかし、やはりなんといっても素敵なのは、循環器の先生方の人望の厚さ、教育熱心さでした。むつ病院に来る前までは循環器内科になる気持ちは正直これっぽっちもありませんでした。むつ病院で加藤先生、芦立先生、遠藤先生、村上先生、金城先生、迪子先生、佑一先生に出会うことができたから、この先生方のお仕事を手伝わせてもらえたから、循環器という道を選ぶことができました。なんだか暑苦しい語りになってしまいましたが（笑）本当にみなさんには感謝してもし尽くせません。春からまた頑張ろうと思います。

まだ 2 ヶ月ほどありますが、むつを去る前に美味しいものを悔いなく食べることも目標です。まだまだ元気に頑張りたいと思いますので、残りの期間、どうかよろしく願いいたします。おわり。

※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。